

【様式1】 ※ペン書きしてください。  
 (鉛筆やインク消せるペンなどは使用しないでください)

市町村記入欄

市町村名	受付番号
------	------

令和8年度 埼玉県放課後児童支援員認定資格研修 申込書

申込希望回

第 回 ( 会場)
-----------

写真貼付欄

写真の裏面には市町村名と氏名  
 をボールペンで記入してくだ  
 さい。  
 (上半身脱帽正面向4cm×3cm)  
 最低6ヶ月以内に撮影したもの

フリガナ			
氏名			
生年月日	昭和 ・ 平成	年	月 日
住所	〒		
電話番号	(日中連絡がつく連絡先を記入してください)		
メールアドレス	(任意…電話連絡が取れなかった場合に使用します)		
所属 ※予定含む	クラブ名		
	所在地	〒	
	連絡先	(電話番号)	
受講資格 (該当の資格に ☑を入れてくだ さい)  申請に必要な書類 は、別添の「受講 資格確認書類」を ご確認ください。	<input type="checkbox"/> 1号 保育士資格 <input type="checkbox"/> 2号 社会福祉士資格 <input type="checkbox"/> 3号 高校等卒業で、2年以上児童福祉事業に従事 <input type="checkbox"/> 4号 教育職員免許法に定める普通免許状、特別免許状、臨時免許状を保有 <input type="checkbox"/> 5号 大学で <u>所定の学科※</u> を修めて卒業 <input type="checkbox"/> 6号 大学で <u>所定の学科※</u> において優秀な成績で単位を修得して大学院入学許可 <input type="checkbox"/> 7号 大学院で <u>所定の研究科※</u> を修めて卒業 <input type="checkbox"/> 8号 外国の大学で <u>所定の学科※</u> を修めて卒業 <input type="checkbox"/> 9号 高校等卒業で、2年以上放課後児童健全育成事業類似事業に従事 <input type="checkbox"/> 10号 5年以上放課後児童健全育成事業に従事 <input type="checkbox"/> ☆ 前年度一部科目修了者 ※「所定の学科・研究科」…社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学		
免除可能科目	1号(保育士)	2号(社会福祉士)	4号(教諭)
④ こどもの発達理解	<input type="checkbox"/>	免除不可	<input type="checkbox"/>
⑤ 児童期(6歳~12歳)の生活と発達	<input type="checkbox"/>	免除不可	<input type="checkbox"/>
⑥ 障害のあるこどもの理解	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	免除不可
⑦ 特に配慮を必要とするこどもの理解	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	免除不可

※本申込書に添付する書類：①本人確認書類 ②受講資格確認書類 ③写真2枚

※裏面もご確認ください

【様式1】

【教材について】

以下の3冊を使用します

- ① 放課後児童支援員認定資格研修 研修資料（全16科目）
- ② 放課後児童クラブ運営指針解説書
- ③ ポケット版放課後児童クラブ運営指針

教材費(税込1,000円)を、「個人支払い(団体払い含む)」か「市町村請求書払い」のいずれかでお支払いいただきます。ご自身がどちらに該当するか、市町村担当者にご確認ください。

なお、個人及び団体(市町村除く)の請求書払いは受け付けておりませんので予めご了承ください。

【教材費の領収書について】(「個人支払い(団体払い含む)」を選択した場合のみ)

- ・**集合研修を受講の方は**、研修初日に教材費を現金で回収いたします。その際に領収書をお渡しします。領収書の宛名を下記へ記入してください。記載がない場合はご本人名義になります。

領収書宛名	
-------	--

※本申込書に記載いただいた情報は、放課後児童支援員認定資格研修に関することに使用するほか、こども家庭庁への資格認定者情報の報告及び都道府県間の相互の利用・提供のために使用します。